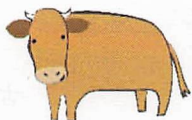




菅原道真公(すがわらのみちざねこう)

御利益 学業成就・合格・仕事運



平安時代初期の貴族

幼い頃から大変優秀で学問に秀でており、
貴族社会において、次々と出世していきました。

しかし、周りの嫉妬により身に覚えの無い罪を着せられ
太宰府(福岡県)に左遷されました。

道真公が亡くなった後に、無念を鎮めるために神として祀られ、
人々は優れた学者だった道真公にあやかり
学問の神様・出世の神様 として崇敬されるようになりました

また、道真公は歌人としても名が高く、梅を詠んだ有名な歌があります
「東風ふかば 匂ひおこせよ 梅の花 主なしとして春な忘れそ」
(春風が吹いたら香りを風に乗せて太宰府まで届けてください
主人の私がないからといって春を忘れないでください)

昭和45年に、太宰府天満宮より

菅原道真公の御分霊を頂戴し、以降「札幌の天神さま」と呼ばれ
今日に至ります



伊夜日子神社



天之香具山命(あめのかぐやまのみこと)



御利益 道開き・災難除け・勝利

古代越の国(現在の新潟県)を開拓した神様

神武東征の際に、高天原の建御雷神という神様から
授かった剣を神武天皇に献上し、
見事勝利へ導いた事から、勝利・災難除けの神様として
崇敬を集めています。



また、ウサギとも縁の深い神様で、
新潟県の弥彦山には沢山のウサギが住んでおり
山から出てきては畑を荒らし、住民たちを困らせていました
そこで天之香具山命はウサギたちを呼び集め
「人々が懸命に耕した畑を荒らしてはいけない」と
諭したところ、すっかり恐れ反省し
二度と畑を荒らさない、と誓ったとの伝説があります

当社は明治の末に、新潟県から移住された人々の有志により
中島公園内に小さなお宮を建立したのがはじまりのため、
天之香具山命がお祀りされております



伊夜日子神社